

Network

広島共立病院 2010年度 医療の特徴

広島共立病院 院長 村田 裕彦

2010年度が始まりましたが、あっという間に一ヶ月が経ちました。

昨年度末に、丸川副院長が急逝し、皆様方には多大なご迷惑をおかけ致しましたが、職員一同大変な衝撃を受けましたが、皆様方から励まされ、丸川副院長の遺志を継いでリハビリテーション医療を継続させております。今後とも皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

本号では、当院医療の特徴を簡単に紹介致します。

総合力を発揮します

広島共立病院には、産科を除くほとんどの診療科がありますが、入院できる診療科は、内科・外科・整形外科・小児科・リハビリテーション科です。泌尿器科・耳鼻科・眼科・皮膚科・脳外科・精神科は外来診療のみ行っており、婦人科は検診限定です。これらの診療科は、中規模病院らしい小回りのきた連携をとり、各年代、特に高齢の方の多彩な病態に対応できる総合力を発揮しています。さらに今年度より、放射線科の常勤医が着任し、迅速で質の高い画像診断が可能となりました。

マンパワーの充実した消化器医療

消化器内科は、今年度常勤医が1名増えて7名となりました。非常勤医師2名と合わせて、9名の医師体制で、消化管内視鏡検査と治療を行っています(図1)。手術が必要な消化器疾患に対しては、外科が緊急手術を含め、対応しています。腹腔鏡を用いた手術を積極的に行っており、虫垂炎の手術も、腹腔鏡手術が第一選択です。消化器領域では、内科と外科が日常的に連携をとり、患者さんにとって最適な医療を選択しています。

外科・整形外科の手術が多い

外科は常勤医師5名で、その他の領域でも積極的に手術を行っています(図2)。特に乳がんは、高永甲副院長の専門領域であり、健診の普及とともに発見率が向上し、増加しています。当院では、放射線治療はできませんが、手術および化学療法は最新の治療を行い、良好な成績を修めています。

整形外科は4名の常勤医師で、骨・関節の疾病や外傷全般に対応しており、手術件数が増えています(図3)。市川部長は手の手術を専門としており、当院の特徴の一つとなっています。

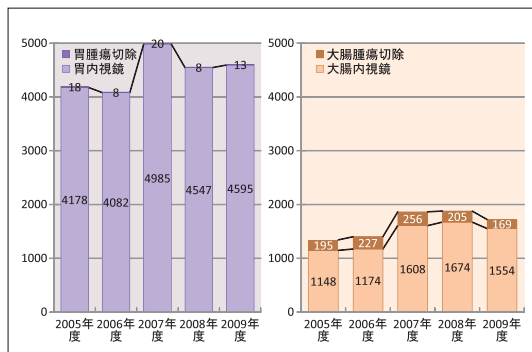


図1 消化器内科 消化管内視鏡件数

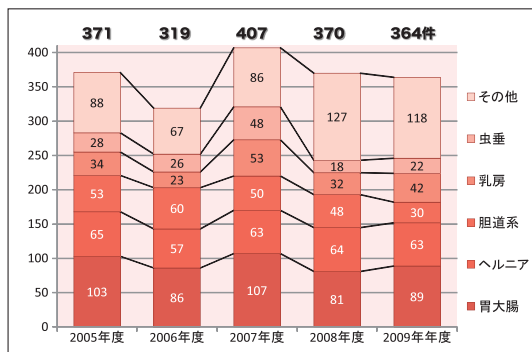


図2 外科手術件数

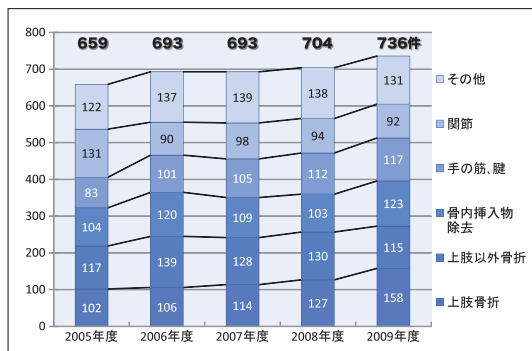


図3 整形外科手術件数

丸川副院長を偲ぶ

丸川晃一先生を偲んで 広島共立病院 院長 村田裕彦

2010年2月16日、丸川晃一先生が52歳という若さで急逝されました。謹んで哀悼の意を表します。

先生は1988年4月に医学部卒業後、当院で初期研修を開始され、以来22年間、広島医療生活協同組合と共に歩んでこられました。学生時代には精神科を希望されておられましたが、内科研修後、1996年から2年2ヶ月間北海道で専門研修をされ、リハビリテーション医としての歩を進められました。

1999年5月に着任した沼田診療所では、デイケアを積極的に展開されました。診療所を経験した先生が、患者さんにとっても優しい先生に成長されたことが印象的でした。2003年10月からは、広島共立病院に戻られて病院増築の準備を精力的に開始され、2004年4月に回復期リハビリテーション病棟と広い訓練室を備えた新棟東館を完成させました。

その後は、「リハビリテーションをブランドに

する」を口癖にして、患者さん中心の質の高いリハビリテーションを展開し、スタッフの教育にとっても熱心でした。他医療機関との連携も重視し、現在の地域連携クリニカルパスに発展させるなど、大きな功績を残されたのです。

また、最近では、2009年7月から協同診療所で短時間デイケアを始められ、新しい事にもチャレンジされていました。

リハビリテーション医療は志半ばで中断し、新病院の完成も見ることができず、丸川先生はとても無念でしょう。ぶっきらぼうでしたが、繊細で、勉強家で、家族思いで、心優しく先生でした。とても残念でなりません。

丸川先生、本当に有り難うございました。先生のご遺志は、私たちが引き継ぎさせていただきますので、ゆっくりお休み下さい。

丸川晃一先生を偲ぶ会

2月27日(土)14時より、丸川副院長を偲ぶ会を広島共立病院、東館1階リハビリテーション室にて行ない、患者さま、関係医療機関の方々など300人のご参加を頂きました。会では、丸川副院長の研修医時代からリハビリテーション医を志すまでの医師人生について、関わりのあった先生方に振り返っていただきました。

桑原安佐医師会会長（現顧問）からは「会長就任の初仕事が、共立病院回復期リハビリテーション病棟の竣工祝賀会であった」とご挨拶され、安佐地区での回復期リハの重要性や役割などを熱っぽく語っていた丸川医師との思い出を披露して頂きました。また、医療連携を行なっている安佐市民病院、広島市民病院各位からも追悼の言葉を頂き、共立病院の回復期リハビリテーションを県内有数の施設にまで築いた丸川



先生の功績を改めて実感する場となりました。職員からは、エピソードを交えながら先生の人柄が語られ、広島走ろう会の景山会長からは、先生が仕事と同様に熱心だったマラソンについての思い出が話されました。

参加された多くの方々温かい励ましを受け、丸川先生の遺志を引き継いでいく会となりました。

ご多忙中、偲ぶ会へのご出席、また弔電、献花を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。



故丸川晃一先生の築いた回復期リハビリテーション病棟

丸川先生は、開設当初から、リハビリテーションの質と連携を重視し、入院患者さまを連携病院から受け入れる仕組みを構築しました。図1に示すように、入院患者さまに占める紹介患者さまの率は常に70%を超え、昨年は86.7%でした。紹介元は、同じ安佐地区にある安佐市民病院が半数を占めています(図2)。また、自宅復帰率は、70%前後を維持し、一昨年度、昨年度は78%を超える高い比率になりました。

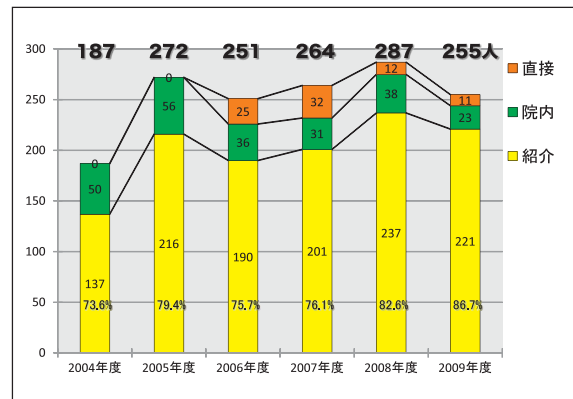


図1 回復期リハビリテーション病棟入院患者数

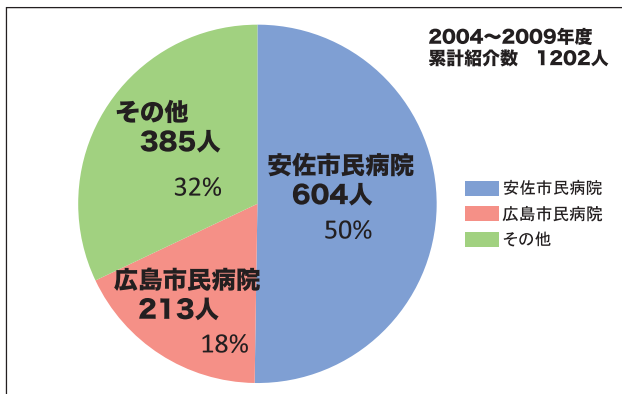


図2 回復期リハビリテーション病棟紹介元

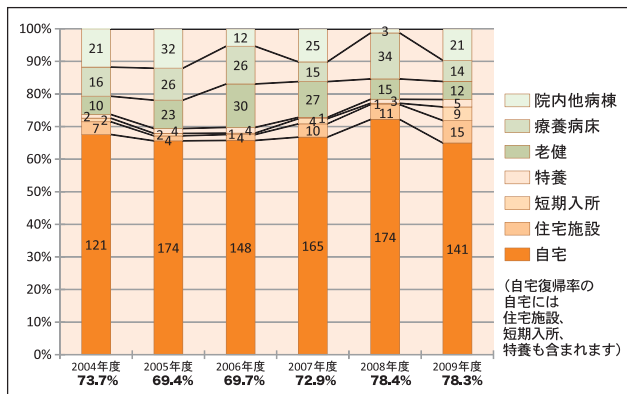


図3 回復期リハビリテーション病棟自宅復帰率

リハビリテーション医療、リスタートです！

回復期リハビリテーション病棟

看護師長 久保田 浩子

丸川医師が急逝され早2ヶ月がたちました。当初は今後どう進むべきか悩んだ時期もありましたが、『丸川医師が作り上げてきた回復期リハビリテーション病棟を継続させていきたい』という皆の思いは一緒でした。片麻痺になったとしても患者さまの持つ能力を最大限に引き出せるよう、今もリハビリストアッフとともに、チームでアプローチをしています。

また、丸川医師が大切にしていた家族面談も継続して行っています。リハビリ進展状況を確認するとともに、患者さま・ご家族の希望を伺いながら、準備を整えて安心して維持期へ送り出せるようにしています。日々の変化はほんの小さなものですが、繰り返し日常生活動作訓練をすることで患者さまの自立度がアップしていくのを見るのは私たちにとってはこの上ない喜びです。質の評価のために2008年度から導入された日常生活機能評価指数においても、2月3月と在宅復帰率、重症者入院、重症者改善率とも今まで同様維持していくことができています。

これからも丸川先生の意味を受け継ぎ、リハビリの対象となる患者さまは積極的に受け入れ、援助していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 科長 鈴木 貴子

出会いも別れも突然でした。ある日突然に呼び出され、「共立病院でリハビリ医療に取り組みたい」と熱く語られびっくりしたのが先生との最初の出会いでした。その日から20年、先生に導かれながら一緒に色々なことに取り組んできました。先生の発想は豊かで柔軟で、驚かされることも多々ありましたが、そこには患者さまやそのご家族を本当の自分の家族のように想う先生の姿勢が常にありました。先生から「夢を持って、やりたいことはないのか」とよく問われたことが思い出されます。先生はいつも新しいことを取り入れ前向きでした。私たちの希望も反対することなく支えてくれていました。今、私たちは新病院建設に向けて大きく夢を膨らませ始めています。しかし、そこに先生の姿はありません。先生はどんな夢を描こうとしていたのでしょうか。先生を慕い集まった仲間とともに先生に自慢できる「自分たちの病院」づくりを実現していきたいと思っております。

理念 患者の人権を尊重した安全・安心で信頼される医療を実践します。

基本方針

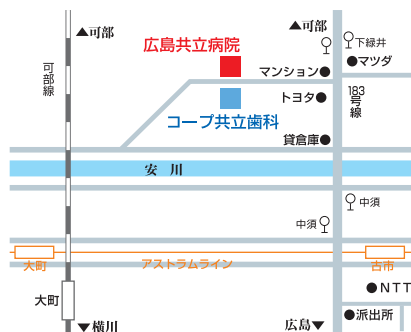
1. 常に医療水準の向上に努め、質の高い医療を提供します。
2. 患者・住民との共同の営みをすすめ、無差別・平等の医療をおこないます。
3. 地域での、保健・医療・福祉のネットワークづくりに貢献します。
4. 職員教育を重視し、いきいきと成長する専門職を育てます。
5. 平和をつくり、社会保障を守り発展させる活動を強めます。

第10回 広島共立病院オープンカンファレンス

- とき：平成22年6月9日（水）19時～
- ところ：広島共立病院7階
- 内容：演題発表3題
なお、終了後、懇親会を予定しています。

診療案内 第2・第4土曜日を休診にさせていただきます。 **予約制** とは事前予約が必要です。 **予約可** とは予約無しでも受診可能です。

	診療開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土	
健診	(市・被爆者・政官健保等各種健診、人間ドック他) ①乳がん検診	予約制	丸屋 ①青木	青木 ①青木 被爆者外来 2時～5時 青木	山田 ①青木	青木 ①青木	寺谷 ①青木	1.3.5週 三田尾 ①青木	
禁煙支援外来	午後(担当医 青木)	初診(再診) 予約制	2時～外科外来	12時～健診外来					
内科	午前9時～11時30分	初診(再診) 予約可	寺谷・山田 ウオン	寺谷・山田 迫本	山肩・加太 ウオン	寺谷・三田尾 小澤	中村・山田 鷹屋	1.3.5週 中村・山田 鷹屋	
		循環器内科 予約制	鷹屋	小澤	村田・鷹屋		村田	1.3.5週 村田	
		呼吸器内科 予約制		木山					
		消化器内科 予約制	三田尾	西原	三田尾	西原	加太	森下	
	午後5時～6時30分	糖尿病内科 予約制	森下		森下		森下	1.3.5週 大谷	
		初診(再診) 予約可						午後休診	
		呼吸器内科 予約制				木山			
		循環器内科 予約制				鷹屋			
	午前9時～11時30分	消化器内科 予約制				西原			
		糖尿病内科 予約制				森下			
精神科	午前9時～11時30分	脳神経内科 予約可	末田						
リハビリテーション科	午前9時～9時30分	診察 予約制		辻					
	午後1時30分～4時30分	理学・作業・言語・物理の各療法	○	○	○	○	○	1.3.5週 ○	
外科	午前9時～11時30分 ※第3土曜日 (予約のみ)高永甲	予約可	大田垣	高永甲 大枝	高永甲 10時まで 迫川	高永甲 大田垣	青木 迫川	1週 高永甲・大枝 3週 大田垣・迫川 (予約のみ)高永甲 5週 交替	
	午後3時～4時30分		2時～ 青木				高永甲	午後休診	
脳外科	午後2時～4時30分	予約可					広島大学		
整形外科	午前9時～11時30分	予約可	市川 田尻	田中 森	中林 森	市川 田中	田中 田尻	1週 田中・田尻 3週 市川・森 5週 交替	
	午後4時～6時30分	(腕)リウマチ (手)肘		1.3.5週 市川 2週 森・4週 田中 田尻		数佐(かずさ) 森		午後休診	
小児科	午前9時～11時30分	☐小児一般	☐東	☐東	☐東	☐東	☐東	☐1.3.5週東	
	午後2時～3時	☑アレルギー 予約制	☑東				☑2時～2時45分 東	午後休診	
	午後3時～4時30分	☑予防接種 予約制	☑東				☑東		
	午後5時～6時	☑乳児健診 予約制		☑3時～4時 東					
眼科	午前9時～11時30分			金本		曾根			
泌尿器科	午前9時～11時30分	6月より 予約可	山崎	山崎	山崎	山崎	山崎	1.3.5週 山崎	
	午後2時～4時30分	全面再開します	山崎			山崎		午後休診	
耳鼻いんこう科	午前9時～11時30分		築家	築家	築家	築家	築家	1.3.5週 築家	
	午後3時～4時30分		築家			築家	築家	午後休診	
皮膚科	午前9時～11時30分	予約可	田中						
	午後2時～4時30分	予約可			行徳		高萩		
婦人科	午前9時～11時30分(土曜)	子宮がん検診 予約制				佐能 (健診のみ) 9時～12時		毎週 広島大学	



広島医療生活協同組合 広島共立病院

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目19-6
TEL.082-879-1111(代)

URL <http://www.hiroshimairyo.or.jp>
E-mail kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp